

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井修身

印刷 内村印刷株式会社

- 県身体障害者連合会長新年あいさつ.....①
- 第15回全スポ「紀の国わかやま大会」成績表.....②
- 障害者になって(相模原市).....③
- 「うたのちからで秦野を盛り上げよう」カラオケ大会(秦野市).....③
- 肢体部会研修会報告.....④
- 聴覚障害者協会の情報.....④

- 第10回県障害者スポーツ大会日程.....④
- さんぼみち(茅ヶ崎市).....⑤
- みんなの広場(横須賀市).....⑤
- 肢体不自由(片マヒ)の視点.....⑥
- 県身連事業予定(1月~4月).....⑥
- 編集委員に就任して一言 / 編集室から.....⑥



《撮影場所：江ノ島》

神奈川県身体障害者連合会 会長 戸井田 愛子
といた あいこ

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。
 皆様におかれましては、お揃いでよいお正月をお迎えのことと存じます。

日ごろ、県身連の運営にあたりましては、皆様にはご支援ご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、平成二十五年に公布された「障害者差別解消法」がいよいよ本年四月一日から施行されます。皆が暮らしやすい社会の実現に向けて、障害者や障害関係団体の意見が反映されていきますよう、皆様との連携を強めながら行動してまいります。

同じく四月より、県にスポーツ局が新設されます。二十二年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて障害者スポーツも大きく普及していくことと思っております。これを期に、障害者スポーツの環境がより良い方向に向かうことを期待しております。

県身連の運営につきましては、多くの課題を抱える中、役員一同で社会動向を踏まえながら適切に推進するよう、関係機関のご協力をいただきながら努力してまいりますので、地域団体の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

終わりに皆様の益々のご発展とご多幸をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」成績表

《神奈川県選手団》

身体障害者個人競技選手 (6名)

氏名	種目	記録	順位
東海林三四郎 (視覚)	立幅跳	2m21cm	1位
	ソフトボール投	56m75cm	2位
鈴木百萌子 (肢体)	ソフトボール投	12m87cm	1位
	100m走	27秒54	3位
吉田 輝 (聴覚)	800m走	2分15秒37	3位
	1500m走	4分42秒33	4位
森 一馬 (肢体)	50m自由形	44秒23	1位
	50m背泳ぎ	1分01秒64	1位
青木まゆか (肢体)	25mバタフライ	21秒95	1位
	50m自由形	46秒68	1位
水落 直美 (視覚)	STT	0勝2敗	3位

知的障害者個人競技選手 (6名)

氏名	種目	記録	順位
岩澤 龍斗	800m走	2分13秒79	2位
	1500m走	4分30秒01	3位
高張 絢斗	400m走	57秒17	5位
	800m走	2分16秒13	3位
西岡 航	800m走	2分11秒48	3位
	1500m走	4分30秒31	1位
石川 祐奈	100m走	14秒53	1位
	200m走	30秒44	4位
荒井 大	50m自由形	32秒26	5位
	50mバタフライ	36秒52	5位
田中 雄大	卓球	2勝0敗	1位

聴覚バレーボール女子チーム

1回戦	神奈川県	1-2	兵庫県
-----	------	-----	-----

メダル獲得数 (団体競技含む)

金メダル	銀メダル	銅メダル	合計
9個	2個	6個	17個

6個

＜選手より一言 東海林選手＞
自分のベストを出せました。
ありがとうございました。

＜選手より一言 高張選手＞
400mでは自己ベスト更新しました！

《相模原市選手団》

身体障害者個人競技選手 (8名)

氏名	種目	記録	順位
大島 凜 (肢体)	100m走	13秒92	2位
	走幅跳	3m95cm	1位
堀口 一真 (聴覚)	走高跳	1m48cm	2位
	ソフトボール投	57m25cm	5位
菅野佳那栄 (肢体)	50m自由形	46秒82	2位
	50m背泳ぎ	59秒80	1位
杉田 公男 (肢体)	卓球	4点	1位
清水 幸子 (肢体)	卓球	2点	3位
福島美栄子 (視覚)	STT	4点	1位
上村江佐雄 (肢体)	アキュラシー5m	9投	2位
	ディスタンス	34m36cm	5位
村山 武志 (聴覚)	アキュラシー7m	5投	7位
	ディスタンス	39m50cm	3位

知的障害者個人競技選手 (8名)

氏名	種目	記録	順位
谷村 健登	100m走	13秒66	8位
	400m走	1分08秒22	8位
菅野 怜央	50m走	7秒16	6位
	ソフトボール投	40m05cm	5位
根本 優太	100m走	13秒43	6位
	200m走	28秒59	8位
永井麻莉子	50m走	8秒54	5位
	ジャベリックスロー	15m58cm	2位
海老原 淳	50m自由形	43秒76	7位
	25mバタフライ	25秒85	8位
佐藤 友愉	25m自由形	12秒76	2位
	50m自由形	28秒12	3位
松井 拓也	25m自由形	13秒04	3位
	25mバタフライ	15秒07	7位
奥野 天子	25m自由形	27秒47	6位
	50m自由形	1分04秒99	7位
陸上 4×100mリレー		56秒96	6位
水泳 4×50mリレー		2分46秒44	3位

メダル獲得数

金メダル	銀メダル	銅メダル	合計
4個	6個	5個	15個



障害者になつて

相模原市 吉原 君子
よしはら きみこ

相模原に越して来て十六年。変形性股関節症で人工股関節の置換手術を受け、身体障害者になつて五年が過ぎました。

相身連に入会して日帰りバス旅行や、手芸教室、スポーツ等の行事に参加させていただき楽しく過ごさせていただいております。

市町村のページ

特に相模原でフライングディスクやきクラブを立ち上げてくださったことで、毎週月曜日にけやき会館で毎回二十名くらいの仲間と一緒に心地良い汗を流しながら和気あいあいと練習に励んでおります。二人のコーチ

前園さんと厚木から通つて指導をしてくださっている小松さんのお陰で、フライングディスクを始め二年足らずで長崎がらんばらんばらん全国障害者スポーツ大会に於いて優勝することができました。応援してくださった仲間や友人達に感謝の思いでいっぱいです。

また、障害者になったことで、以前から大好

きで練習していましたボウリング大会でも優勝したりしています。

私は高校一年の時に、膠原病こうげんびょうの一種である若年性慢性関節リウマチと診断されて入院をくり返していました。今までに手術も七回しています。今も病と向き合っています。素敵な仲間に出会えたことで沢山の勇氣と希望をいただいております。

先輩の皆様方が苦勞して築き上げた相身連の発展のために少しでもお役に立てればと思っております。



「うたのちからで秦野を盛り上げよう」カラオケ大会

秦野市 宮本 英子
みやもと えいこ

秦野市は丹沢盆地に位置し、周囲は神奈川県北西部に広がり丹沢山地の大部分は山岳公園、丹沢大山国定公園、神奈川県丹沢大山自然公園になっていて、緑豊かな丹沢の山々が育んだ秦野の地下水を汲み上げた水は「丹沢の雫」と名付けられ、とても美味しいことで知られています。また、震生湖、今泉名水桜公園、周辺の丘陵などは自然豊かで多くの方々がその風景見たさに訪れます。またかつては、たばこ産業で栄えた町です。

秦野市は今年、市制六十周年を迎え秦野市身体障害者福祉協会も創立六十周年を迎えることとなりました。この記念する年に何か思い出を作りたいと考え、秦身協が主催者となり平成二十七年十月に、秦野市文化会館小ホールで「うたのちからで秦野を盛り上げよう」をテーマにカラオケ大会を開催しました。

開催にあたり、秦野市役所福祉課ほか多くの方々にご協力をいただき、うた・踊り・三味線・和太鼓など盛り沢山の内容となり、一日熱演が続き拍手が途絶えない大会になりました。ご来場の皆様からは、「とても素晴らしかった」、出演した秦身協会員の皆様からは、「今度はいつやるの？また開催してね」などの声をいただきました。この大会が障害者の方々及びご家族、そして地域の方々との親睦を深めると共に、これからも住みやすい町である秦野の発展を願う心をひとつについできたと感じました。

最後に、これからも役員一同協力し秦身協の事業継続、活性化を目指し取り組んで行きたいと思えます。

皆様、是非、緑溢れる秦野の町、にお越し下さい。

肢体部会

研修会報告

肢体部 種田多化子

十一月十一日、あの東日本大震災から四年八ヶ月経った日、伊豆にある埼玉県の宿泊研修施設伊豆潮風館で県肢体協の研修会が開催されました。横浜から国際救急法研究所理事長宇田川則夫様にはるばる来ていただきました。内容は、今後三十年間で大地震の発生確率は七十%から八十八%と高く、災害対策は、命を守るため「物を捨てること」「家具の配置や固定」「家の耐震補強・耐震ベツド」「障がい者高齢者はやつてもらったため声を出すこと」「手伝ってくれる人を地域で探すこと」が大切です。災害があっても自宅で暮らせるのが一番です。でも、避難所に行かなくてはいけない時、私達移動困難な障がい者は遅くなる。トイレが一番大切だけど助けを求めることが大切です。平時は防災訓練に参加して「こんな私も助けて下さい」とアピールする。防災の担当者と同様になることが

事業案内・報告

大切です。研修会は先生と参加者の楽しいやりとりの中、講演を聞くことができました。皆様、お疲れ様でした。

大切なことです。研修会は先生と参加者の楽しいやりとりの中、講演を聞くことができました。皆様、お疲れ様でした。



聴覚障害者協会の情報

「相模原でカナガワ・デフ・ウェイが開催されました」

聴覚部 河原 雅浩

「デフ・ウェイ」とは直訳すれば「ろう者・道」となりますが、これはろう者がろう者としての誇りを持って生きる道という意味

なので。ひと昔前よりは良くなったとはいえ、ろう者に対する理解はまだまだ進んでいません。この状況を改善するために実際にろう者を訪ねるため、今年で十六回目になります。今年は十一月一日(日)に相模原市民会館で開催され、相模原市民を含め六百七十人あまりが来場しました。ホールでは午前に地元相模原市の手話フラダンスと、手話による様々なアトラクションが行われました。建物前の広場では、焼きそば、お好み焼、パン、お菓子などの模擬店があり、昼の休憩時はいくつもの列ができるほどでした。来年は横須賀・三浦地区で開催予定です。



第十回県障害者スポーツ大会日程

平成二十八年度の県

障害者スポーツ大会は、次の日程で開催を予定しています。

参加申込等については、お住まいの市町村障害福祉担当課までお問い合わせください。

●フライングディスク競技会

期日 四月十七日(日)

会場 横須賀市不入斗公園陸上競技場

申込 二月二十二日(月)まで

●ボウリング競技会(知的障害者)

期日 四月二十四日(日)

会場 湘南とうきゅうボウル

申込 三月十四日(月)まで

●アーチェリー競技会(身体障害者)

期日 四月二十四日(日)

会場 県総合リハビリセンター

申込 三月十四日(月)まで

●陸上競技会(知的障害者)

期日 五月十五日(日)

会場 県立体育センター

申込 三月七日(月)まで

●陸上競技会(身体障害者)

期日 五月二十九日(日)

会場 県立体育センター

申込 三月二十二日(火)まで

●卓球・サウンドテーブルテニス競技会

期日 六月十二日(日)

会場 寒川総合体育館

申込 四月二十五日(月)まで

●水泳競技会

期日 七月三日(日)

会場 さがみはらグリーンプール

申込 五月十六日(月)まで

さんぽみち

私の散歩道

茅ヶ崎市 高丸やい子

茅ヶ崎市北部では未だ農地が多く、家庭菜園の畑や樹木も残っています。遊歩道の両側に咲く色とりどりの草花や小鳥のさえずりに心癒されます。

車道の緩やかな斜面の中腹に甘

沼大神（八幡神社）があり、甘沼の鎮守で誉田別命（応神天皇）が祀

られています。参道の右脇には四臂青面金剛像（二猿様式）の庚申塔

が祀られており、二猿様式のもものは、相模川の下流域では七基見つかっています。寒川町大曲のものに次ぐ古いもので十間坂・神明宮行谷・金山神社の庚申塔の三基とともに県有形文化民族文化財に指定されています。元日には多くの人が初詣に訪れます。神社横の階段を登ると殿山公園があり、心地良い風にホッとひと息。ここから見る富士山と桜は、ポストカードにしたい程素晴らしい眺めです。少し北へ歩いていくと大岡

越前公が眠る菩提寺の

浄見寺があり、樹齢三

百年のオハツキイチヨウ

と寺林は県指定天然記念物です。金

剛製六臂と弁財天座像は、県重要文化財にそれぞれ指定されています。

浄見寺の近くには、寄贈移築復元された旧和田家、旧三橋家の古民家があり、江戸の暮らしを知る貴重な建物で民族資料館として一般公開されていて、桜の名所にもなっています。

駒寄川橋を西へ少し入った用水

路脇には、勘重郎堀遺跡と庚申の文字が刻まれた双体道祖神と石仏

が祀られています。この用水路は三橋勘重郎という香川の名主が雨水頼りの農地に駒寄川の堰を設け、香

川への用水をとり入れて村を救った逸話があります。水路は大方埋められて、今はみずぎ二丁目から香川方向へ続いています。香川駅から大山街道に出て東へ進んだ所にある鶴が台団地辺りは元々沼地で、鷺の群れが川遊びをしていたそうで、甘沼・香川・鶴が台等、地名の由来をうかがい知ることができそうです。あちこち歩いてみると、慣れ親しんだ自然の景観が変化している事に気づいたり、思いがけない話を聞けることが今では楽しみの一つとなっています。

みんなの広場

横須賀市肢体障害者協会の現状と活動

横須賀市 鈴木 英雄

横須賀市の肢体障害者協会はこの数年会員の高齢化と減少に悩んでいる。現状は現状として受け止めて、会員の増強を図りながらも現会員で、できる限りの活動に努めている。

福祉施策の向上を図ることも去ることながら、それと共に会員の健康・体力維持・社会参加の機会を図るため、様々な行事を行っている。バス旅行、歩行訓練、サークル活動、婦人部活動等。サークル活動は、ダーツ・フライング

ディスク・詩吟・書道がある。週一回程行っているが、私は詩吟に所属している。声を発することで

言語訓練になるとともに、大きな声を出すことは健康に繋がると思う。しかし、「詩吟は健康のためだけではない」と、お叱りを受けている。詩吟は吟道と云うように道を極めることにあると。心を引き締めて練習に励みたい。

ダーツやフライングディスクは、毎年六月に行われる市の福祉の一大イベント「ふれあいフェスティバル」や「横須賀、三浦ふれあい広場」等の行事に体験コーナーで参加し、多くの市民を楽しませているとともに協会の活動をPRしている。

横須賀市では月に一回、新しく障害者手帳を交付する時に説明会を行っている。その会場に当協会の案内パンフレットを置いてあるが、効果はあまりない。「やはりロコミが一番だ」の結論である。

最近、横須賀市は人口の減少傾向にあり、その対策に力を注いでいる。

ヨコスカ軍港めぐりは好評で、「はとバス」のコースにもあり、障害者割引（半額）もある。皆さんも横須賀に遊びに来てください。

県身連事業予定

- 〈1月〉
- 19日(火) 身障かながわ編集委員会
(県社会福祉会館)
- 19日(火) 地域スポーツ振興部会講習会
(逗子アリーナ)
- 29日(金) 肢体部会女性部研修会及び部長会議
(藤沢市民会館)
- 〈2月〉
- 17日(水) 「障害者権利条約」講演会
(茅ヶ崎市役所分庁舎コミュニティーホール)
- 25日(木) 肢体部会役員会
(県社会福祉会館)
- 28日(日) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会①
(県立体育センター)
- 〈3月〉
- 12日(土) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会②
(県立体育センター)
- 17日(木) 社会参加推進協議会
(県社会福祉会館)
- 17日(木) 肢体部会代議員会
(県社会福祉会館)
- 26日(土) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会③
(県立体育センター)
- 27日(日) 初級障害者スポーツ指導者養成講習会④
(県立体育センター)
- 上旬 県身連理事会
(県社会福祉会館)
- 下旬 県身連評議員会
(県社会福祉会館)
- 〈4月〉
- 3日(日) 県身体障害者ボウリング大会(身体)
(湘南とうきゅうボウル)
- 17日(日) 県障害者スポーツ大会[F D]
(横須賀市不入斗公園陸上競技場)
- 24日(日) 県障害者スポーツ大会(知的)[ボウリング]
(湘南とうきゅうボウル)
- 24日(日) 県障害者スポーツ大会(身体)[アーチェリー]
(県総合リハビリテーションセンター)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
045-311-8744
[推進センター]
FAX：045-316-6860
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

肢体不自由(片マヒ)の視点

藤沢市肢体障害者協会

藤原 かつお
勝雄

片マヒとは、いわゆる脳卒中(脳梗塞、脳出血等)の発症で半身不随となり、左右の上下肢が不自由になった状態を言います。従って左右の脳障害で左片マヒと右片マヒに分かれますので、障害は多岐にわたりますが、歩行困難を主症状として言語障害、しびれや関節の痛みなどが伴い、一人として同じ症状の患者さんはおられません。

私は平成七年三月、千葉県に出張中に発症し、すぐに救命病院で救命治療、一週間経て藤沢市民病院に転院。発症十日目で右頭部手術、左片マヒとなり一ヶ月術後入院し、厚木市七沢のリハビリ病院・脳血管センターに転院。リハビリに専念し発病後六ヶ月弱で無事に退院したが、短下肢装具(SLB)をつけ杖歩行での退院だった。

退院後の在宅生活は不便そのもので、市の補助による階段の手すりやトイレ浴室の改修で、居室での生活は便利になったが、SLBを杖歩行での外出はままならず苦労した。市の保健医療センターの機能訓練室でPT・OT・看護師のチームがリハビリ指導、相談等していたのでリハビリに励むことができた。免許証の更新に挑戦したところ、自動車は除外されたが、右手右足は自由なので普通自動車免許を更新することが出来た。これで機能訓練室や近くの整形外科などでのリハビリができるようになり、親しいリハビリ仲間も増え楽しくリハビリすることができた。市の定期訓練会も二年で卒業、訓練仲間で絆もでき、自主訓練グループで自主訓練会「ふじみ会」を立ち上げ、以降リハビリと仲間とのふれあいがある。要は、いかに片マヒによる不便を解消するか、仲間づくりによる楽しい生活を築けるかだと思っている。

編集室から

編集委員になり二年が経ちました。今年度からずっと不在だった聴覚部の編集委員、しばらくして欠員だったブロックの編集委員も出てきてくださり、フルメンバーになりました。さらに、事務局も若返りました。障がいのこと、障がいの思いや活動について発信していこうと相談しています。地元の藤沢市でも障がい者と親の会が集まり、災害時要支援者対策を講じています。また、合理的配慮が叫ばれています。障がいのことを理解してもらおうことは難しいと感じています。やはり外にもっと発信していくべきと思います。書くことは苦手ですが思いを伝えるため、もう少し書いていきます。よろしくお願ひします。

編集委員 たねだたかこ
種田多化子(藤沢市)

《編集委員に就任して一言》
障害と共に日々過ごされている会員の皆様の姿が感じられる紙面づくりを心掛けてます!

第五ブロック(開成町)

編集委員 遠藤 伸一